

意見	対応状況
図4-1-1「循環経済のイメージ」については、もう少しリユースの位置付けを分かるようにしてはどうか。	使用には新品の使用だけでなく再使用（リユース）も含まれるため、図4-1-1中の注釈としてその旨を記載します。（P42）
リターナブル容器は、何度も繰り返し使うという点でサーキュラーエコノミーに非常にマッチしている。リターナブル容器の価値や仕組みを広めることについても記載するべきである。	リターナブル容器に関するコラムを記載します。（P59）
資源循環の推進に関する取組は5 R（リデュース、リユース、リサイクル、リプレイス、リフューズ）としてはどうか。	現行計画では、リフューズは廃棄物の発生抑制につながることから、リデュースの取組に位置付けており、第6期計画でもこの位置付けとします。なお、リデュースの取組のうち、不要なストローや使い捨てスプーン、レジ袋等を断ることがリフューズの取組であることが分かるように記載します。（P48）
「食品ロスの半分は家庭からの発生」という文言や「日本の食品ロスの状況」に関する図（農林水産省作成）を入れると効果的だと思う。	食品ロスの現状に農林水産省作成の家庭系・事業系それぞれの食品ロス発生量を表した図を既に記載しています。（P23）
食品ロス削減推進サポーター制度について、インターネットを使用できる環境にない方のために市町村が事務局となり、資格受講のための講座が開催されることが望ましく、少し具体的に記載してほしい。	市町村等と連携して食品ロス削減推進サポーター制度の普及促進を図る旨を記載します。（P79）
食品ロスの削減について、女性が関わる様々な団体への働きかけを行う文言をどこかに入れていただきたい。	食生活に関わる地域団体との連携を強化する旨を記載します。（P79）